

市民の目で見た

市役所の

仕事は

事務事業の外部評価結果

行政課 ☎66♦1155



市長へ提言書を渡す委員長

〈蒲郡市行政改革委員会〉
蒲郡市の行政改革の進捗状況を把握して、市長に意見を述べる目的で、平成11年に設立。現在、大学教授と7人の市民の方が活動しています。

評価結果と提言

2月1日号の広報がまごおりで、今年度、市が実施した事務事業（仕事）の内部評価結果をお知らせしました。内部評価は、事務事業を行った職員自らが評価をするため、評価が甘くなりがちです。

その部分を補うために、昨年度から、蒲郡市行政改革委員会が市民の視点で評価（外部評価）しています。評価対象は、市が内部評価した事業の中から、分野が偏らないように委員会が選定し、今年度は12事業の評価をしました。

その評価結果が市長に報告されましたので、内容をお知らせします。

12事業の評価については、内部評価と外部評価の相違について、A評価を3点、B評価を2点、C評価を1点、D評価を0点として、それぞれの平均点で表しました。

その結果、市評価が高い事業が5事業、同じものが1事業、市評価が低いものが6事業ありました。委員会では、各事業を点数評価するとともに、事業内容を検討し、その評価結果を提言として市長へ提出しました。評価結果は、下の表のとおりです。

今後、市は、この提言をそれぞれの課で前向きに対応させていただきます。予定です。

事業名	概要	内部評価	外部評価
意見・要望・苦情調整事務事業	市民の間に顕在化しない意見・要望・苦情などをいかに「気づき」「吸い上げ」「関係員へ送致」するかが課題である。今後は、市への要望などの受入れ窓口を一本化することなどが必要となる。	3	2.3
センター科学館施設維持管理事業	蒲郡のシンボリックな存在としての位置づけであるが、公共の施設ではあっても多くの入館者を集める努力を行わなければ、維持管理事業も意味のないものになってしまう恐れがある。	2	2.3
市民センター管理事業	市民センターは公民館とも大きく関連するので、その位置づけを明確にすべきである。また、出張所が併設されていない2カ所については、指定管理者制度を活用することが必要である。	1	1.25
工事入札・契約事務事業	将来的に電子入札を行うに当たっての問題点の検討を十分に詰めておく必要がある。その際、透明性の確保や情報倫理に反する行為の禁止などに配慮して行うことが重要である。	2	1.7
成人の健康づくり教室事業	一般に、健康づくりは基本的に本人の問題であり、民間に任せられる部分は任せるべきかと思われる。また、学校教育での、子どものころからの意識高揚は重要であるので、教育委員会と結託した展開が望まれる。	2	1.25
米政策対策事業	三河の米対策の改善を国に働きかける、農地が果樹園およびビニールハウスに転用が容易にできるようにする、市街化調整区域の見直しにおいて考慮するなどを検討し、蒲郡ならではの政策で対応すべきである。	1	1.7
斎場管理運営事業	効率的・効率的運営が行われている。老朽化の問題については、PFIの手法により解決すべきである。この場合、付加的サービスを考えて、十分にPFIが適用できるように検討すべきである。	2	2.25
人にやさしいまちづくり事業	講座開講が主要な内容となっているが、行政が行う必要性はなく、調整機能だけで十分であり、「協働まちづくり推進指針」による住民活力の利用を考えていくべき事業である。	1	0.5
鉄道高架事業	事業については良好に進められているが、それに付随する各種事業についても、鉄道高架事業完成時にそれらの事業が進捗していることが望ましい。特に、現在進めている都市計画マスタープランにこれらを取り込むことが重要となる。	3	2.25
公園施設維持管理事業	達成度は見られるが、今後は清掃、管理にNPOやボランティアなどを活用すれば、参加者の交流、健康面が良い方向へ向かって行くことが考えられる。	1.5	2
消防安全管理事業	事業評価において、目標が成果指標と結びつかない、成果指標が実態に合わない、担当者の人件費算出が不明などの問題点があり、評価を行う上で検討すべき課題といえる。	2	2.5
食品検査強化事業	民間に比べると年間の検査回数が少なく、これで安全が保たれるのかどうか疑問となる。また、必要な事業ではあっても、どれだけの費用でどこまで検査するのかの基準が不明確である。	2	2

詳しくは、蒲郡市ホームページ (<http://www.city.gamagori.aichi.jp/somu/gyosei/gaiju.html>) をご覧ください。また、市役所4階の情報公開コーナー、図書館、市内7カ所の図書館分室でもご覧いただけます。